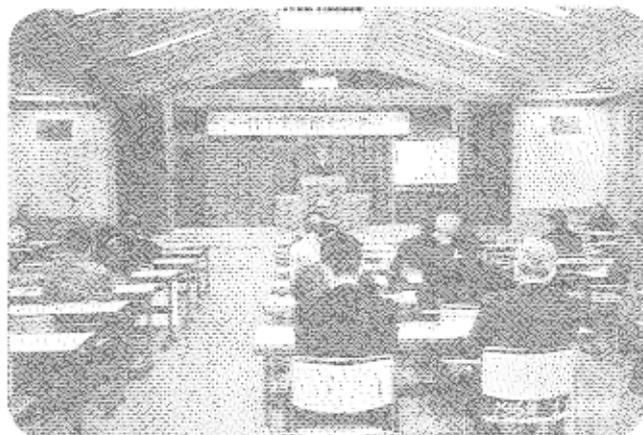


# TOPICS

## ★ 一日工業技術センターを北薩地域で開催

平成8年1月29日から30日に宮之城町（宮之城ひまわり館）、2月8日から9日に川内市（産業振興センター）で一日工業技術センターを開催しました。離島地域については平成2年度から4年度にかけて実施をしておりますが、本土地域でははじめての開催となりました。当センターの役割や利用方法を示し、同時に技術相談を行う内容でした。両地域あわせて70名の参加者があり、当センターと北薩地域の産業界の方々との連携を深めることができました。



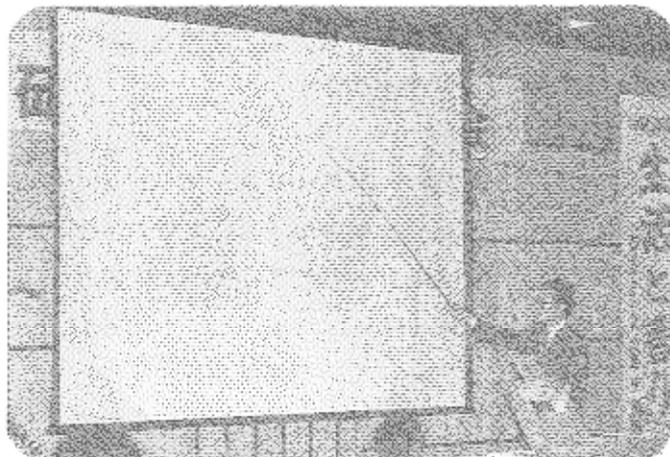
## ★ 鹿児島県工業技術センター研究成果発表会

平成7年度の研究成果発表会を技術指導、共同研究の成果を中心に、平成8年2月6日に当センター大会議室で開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から145名の参加を頂きました。

特別講演として九州大学農学部食糧化学工学科教授の筈島 豊氏をお招きし、「生活と香り」の演題で、おいしさや香りを分析データと関連づけながら、講演いただきました。

研究発表は、「機械金属技術に関する技術指導事例」（機械金属部）、「米国向け電子機器の電磁ノイズ対策」（株式会社エルム、電子部）、「シラス微粉末を利用したGRCの耐久性改善について」（インフラテック株式会社、窯業部）、「異種素材の組み合わせによる工芸品開発事例」（株式会社山王産業、デザイン開発室）、「松くい虫被害材の炭材製造と水処理への応用」（有限会社クリエート、株式会社サニタリー、化学部）

「スギLVLを用いたRH構法による剛接合」（輝北プレスウッド株式会社、木材工業部）、「甘露焼耐用高香気生成酵母の育種及び実施試験」（食品工業部、大口酒造協業組合）の7件を行いました。参加者からは多くの質疑があり、工業技術センターの技術指導や共同研究内容に対して関心の高さが伺えました。



## ★ 農学博士誕生



平成8年2月5日付けで木材工業部の森田慎一主任研究員が東京大学にて農学博士の学位を取得しました。

学位論文のテーマは、「ヤクスギ材抽出成分の特徴とその生

物活性に関する研究」で、屋久杉の成分（特にテルペン類）に関して分析し、それらの効果（生物活性）について研究したものです。ヤクスギ材の樹脂中に香りの成分のほか、木材の腐朽性に寄与する物質や、抗ダニ、抗カビ効果のある物質が含まれていることを見いだしています。